

# フクじ通信

平成17年6月1日発行 VOL10

## 社会保険中央病院の明日へ！

齊藤 寿一（病院長）

しかしながら、少なくとも当院についてはこれら二つの点からみて病院の存続に不安を抱かせる状況は全くありません。過去50年にわたり地域の患者様の暖かいご支持をいただいていた当院は、おかげ様で日々、皆様から高い信頼をお寄せ頂き、ご利用を頂いております。そしてその結果として経営面についてもたいへん順調に推移しております。



街角につつじの美しい季節を迎え、社保中も新たな活気をみなぎらせています。昨秋10倍を超える応募者の中から当院に最も相応しいとして選びぬかれ、本年3月に医科大学を卒業した6名の新人医師が研修医として着任しました。また病院の将来構想検討委員会では当院の10年後、20年後を見据えつつ、この新宿区百人町の地でどのような医療を地域の皆様に提供して行くべきなのか検討を進めています。

### 社保中の経営は健全です！

現在、当院と関わりの深い社会保険庁や政府管掌健康保険の在り方が見なおされつつあり「社保中は今後どうなるのか」という患者様のお声を時に耳にします。確かに国の財政が厳しいことから、全国にある52の社会保険病院について平成17年度までの3年間の状況を見極めて、地域医療にとって重要な病院か、そして独立してやって行ける経営状況か、という二つの視点で病院の在り方が検討されようとしています。

### 質の高い医療と地域への 貢献が存続のカギ

社会保険庁をめぐる今後の改革とともに、将来、当院の設置主体などに何らかの手直しが加えられる可能性は否定できません。しかし当院が質の高い行き届いた医療を提供し続け、患者様からのご期待とご信頼にしっかりとお応えし、また周辺の医療機関との緊密な連携のもとに地域医療に貢献し続けている限り、永い将来にわたってこの病院の姿に大きな変容を迫られることは一切ないものと確信しております。

最近、公的病院について国会等で交わされている議論をみても、地域医療で重要な役割を担っている病院の診療活動に支障を来す様なことは決してあってはならない、という点で政府も与野党も一致しているのです。

日頃、当院をご利用下さる皆様には、当院の変わることのない充実と一層の発展を暖かく見守って下さり、ご支援と全幅のご信頼とをお寄せ頂きつつ、引き続き当院をご利用下さる様、職員一同心から期待して居ります。